

# 福井県の産業・経済情勢

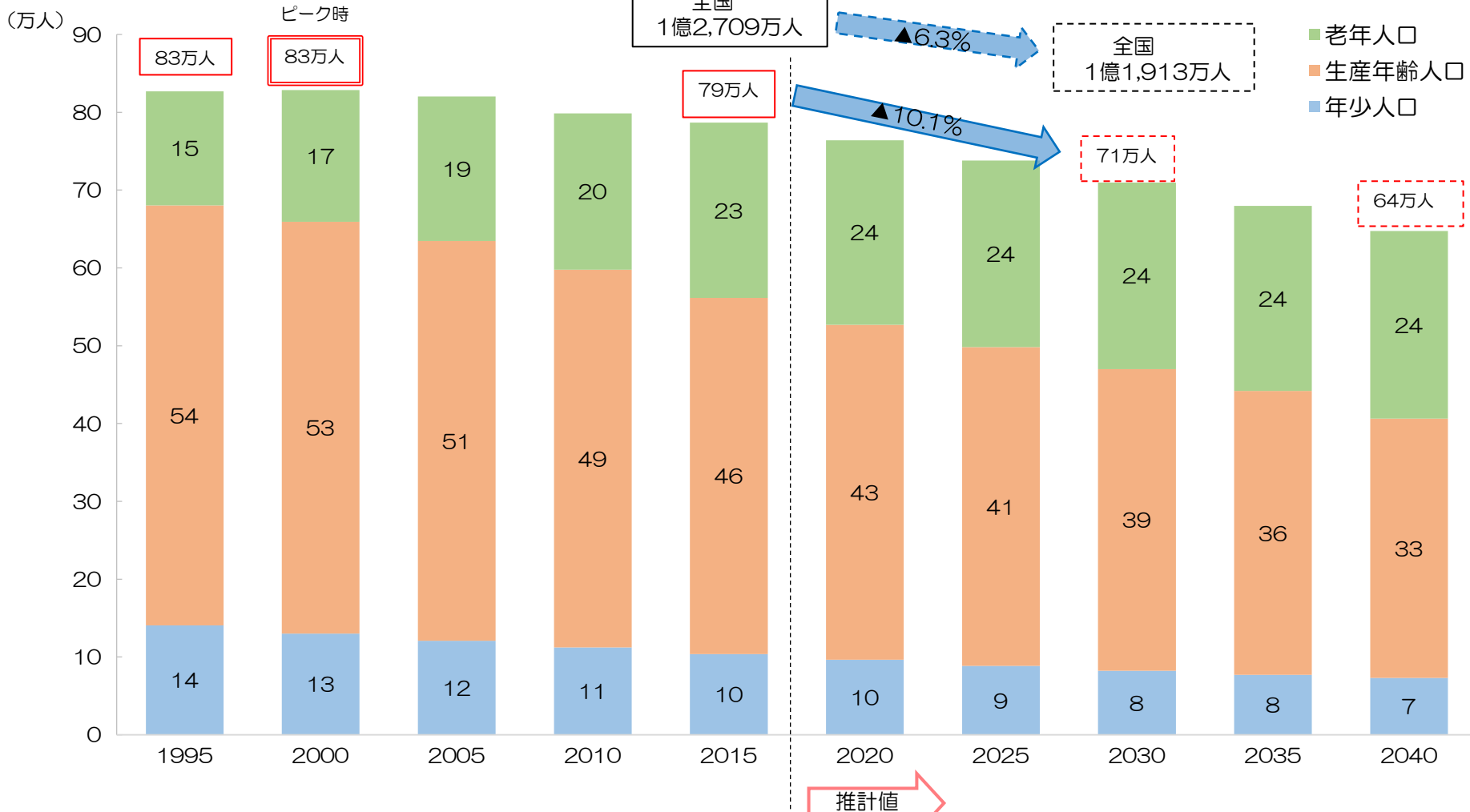
第 1 回 福井県経済新戦略推進本部会議  
平成 3 0 年 1 0 月 3 0 日

1	人口の推移と見通し	・・・	1
2	医療費・介護給付費の推移と見通し	・・・	2
3	労働需給の推移 （①求人・求職の動向、②職種別有効求人倍率）	・・・	3
4	経済成長率（名目）の推移	・・・	5
5	産業構造の変遷 （①県内総生産、②従業者数）	・・・	6
6	事業所規模の推移	・・・	8
7	製造業の現状 （①事業所数、②従業者数、③製造品出荷額等、④企業誘致の実績	・・・	9
8	卸・小売業、サービス業の現状 （①事業所数、②従業者数、③付加価値額）	・・・	13
9	開廃業率の推移	・・・	16
10	輸出額の現状 （①地域別・品目別、②海外拠点数、輸出企業数）	・・・	17
11	観光の現状 （①観光客入込数、②宿泊者数、③ホテル稼働率、④観光消費額）	・・・	19
12	伝統工芸の現状	・・・	23

# 1 人口の推移と見通し

- 2015年の人口は79万人（全国の0.6%）。2030年は71万人、2040年は64万人に減少。
- これに伴い、生産年齢人口（15～64歳）は、2030年に39万人、2040年に33万人に減少。
- 2015～2030年の減少率が▲10.1%であり、日本全国（▲6.3%）より人口減少が早く進む。

【人口の推移と見通し】

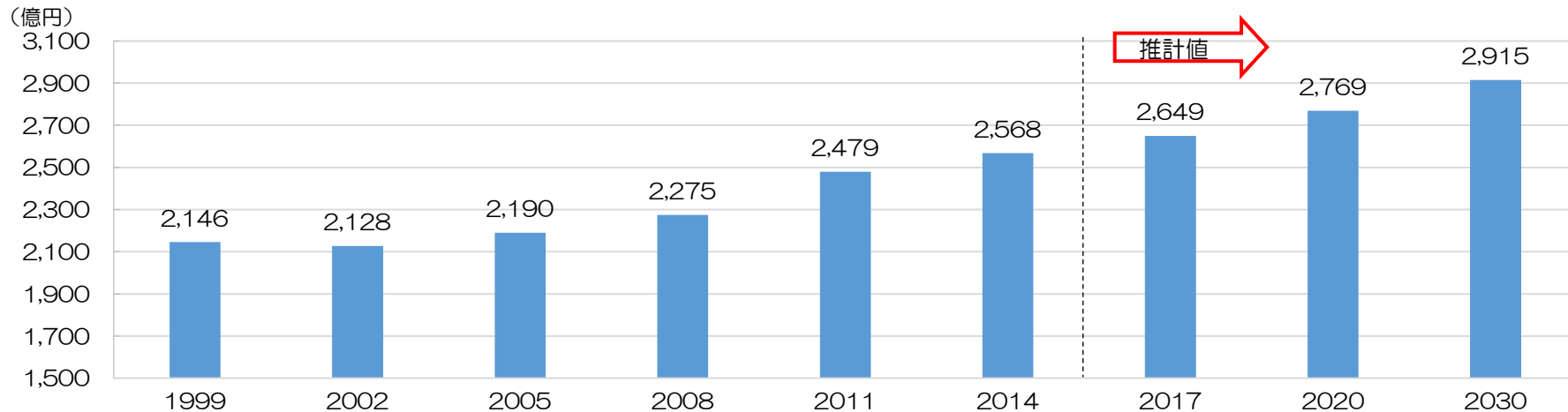


【国勢調査（総務省）、日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）】

## 2 医療費・介護給付費の推移と見通し

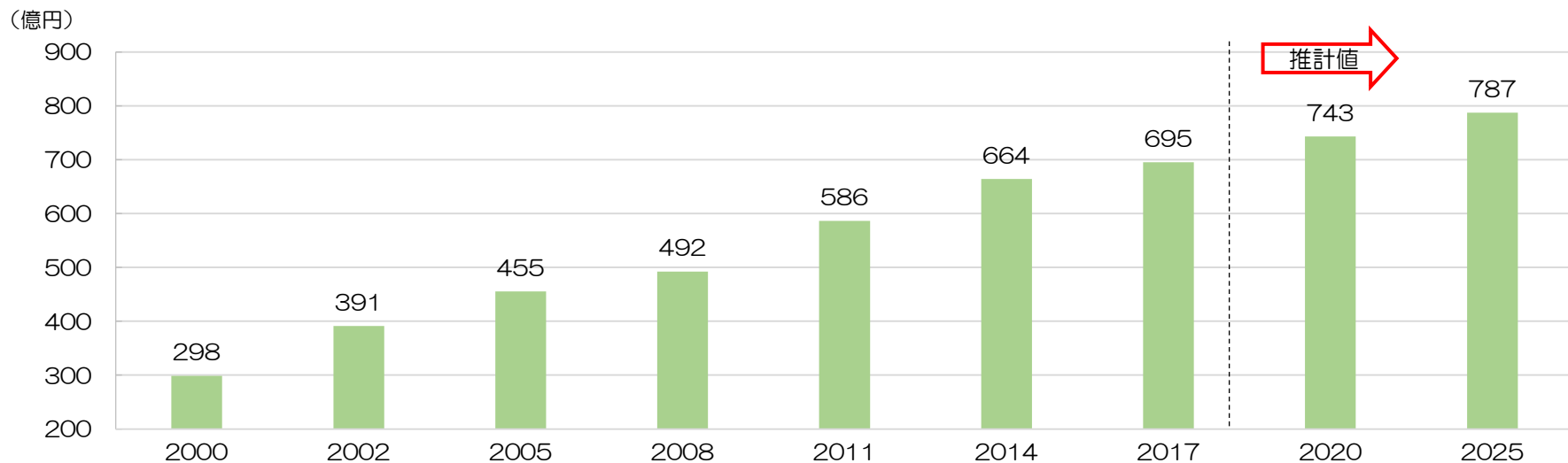
・県人口は減少するものの高齢化がさらに進むため、医療費、介護給付費ともに今後も増加する見込み。

### 【医療費の推移と見通し】



【福井県医療費適正化計画（福井県）】

### 【介護給付費の推移と見通し】

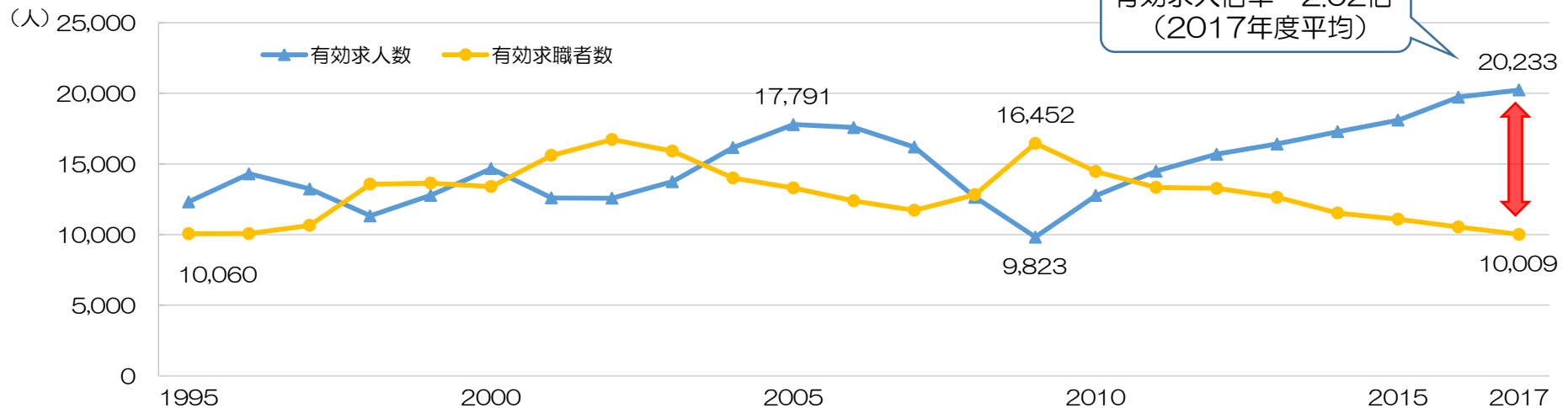


【福井県介護保険事業支援計画（福井県）】

### 3-① 労働需給の推移（求人・求職の動向、完全失業率）

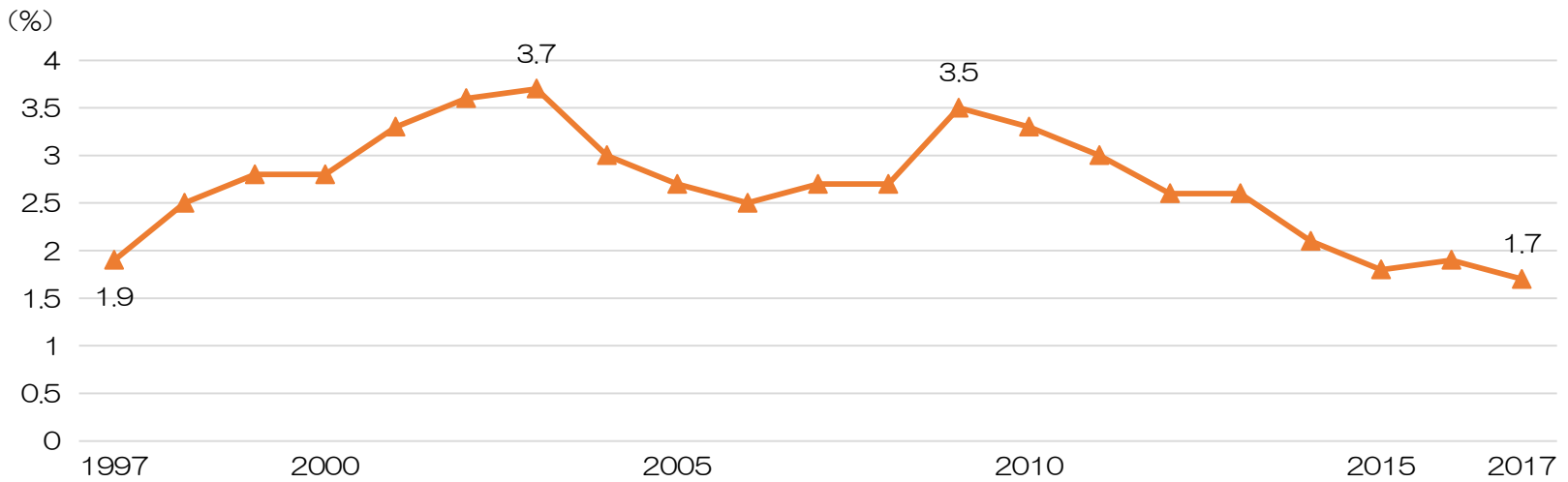
- 有効求人倍率は全国1、2位の水準で推移し、2017年の求職者の不足数は約1万人。
- 完全失業率は2009年の3.5%から低下を続け、2017年は1.7%、過去20年間で最低水準にある。

【求人・求職の動向（1月あたり平均者数）】



【雇用失業情勢（福井労働局）】

【完全失業率（年平均）】



※完全失業率＝完全失業者／労働力人口

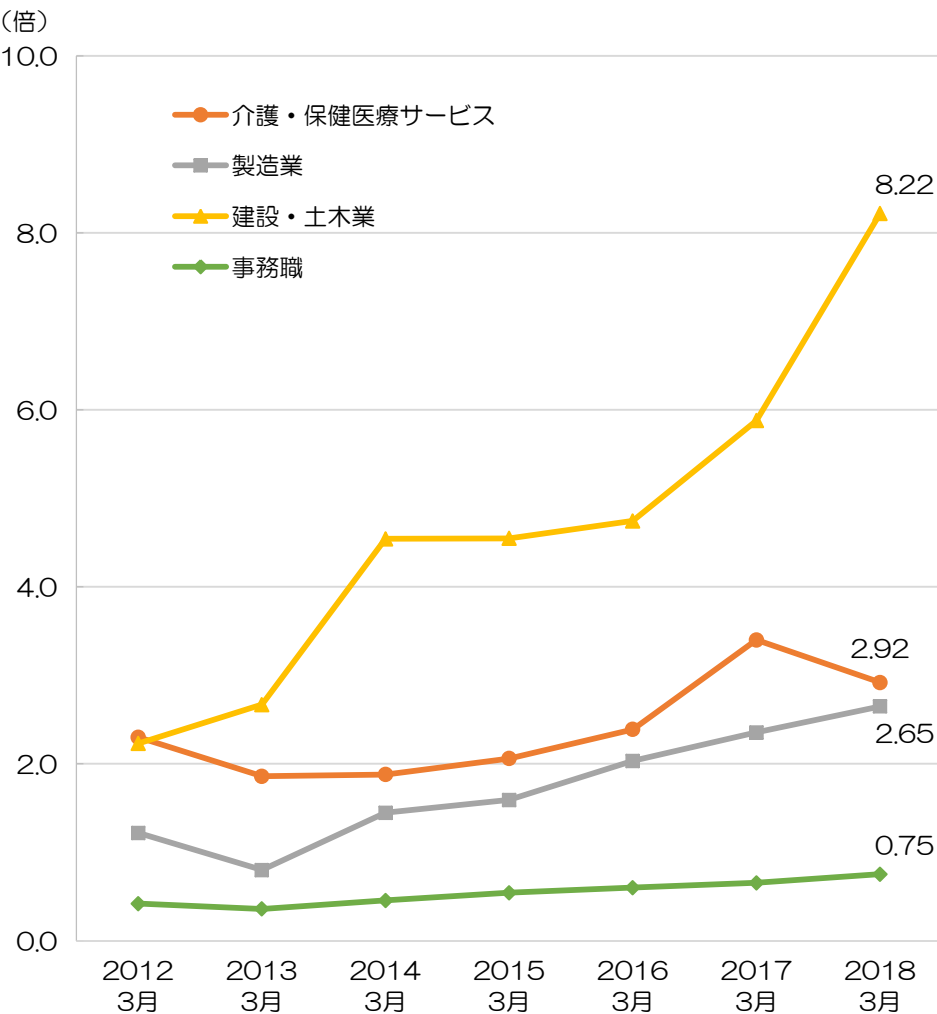
【労働力調査結果（総務省）】 3

### 3-② 労働需給の推移（職種別有効求人倍率、女性の労働力率）

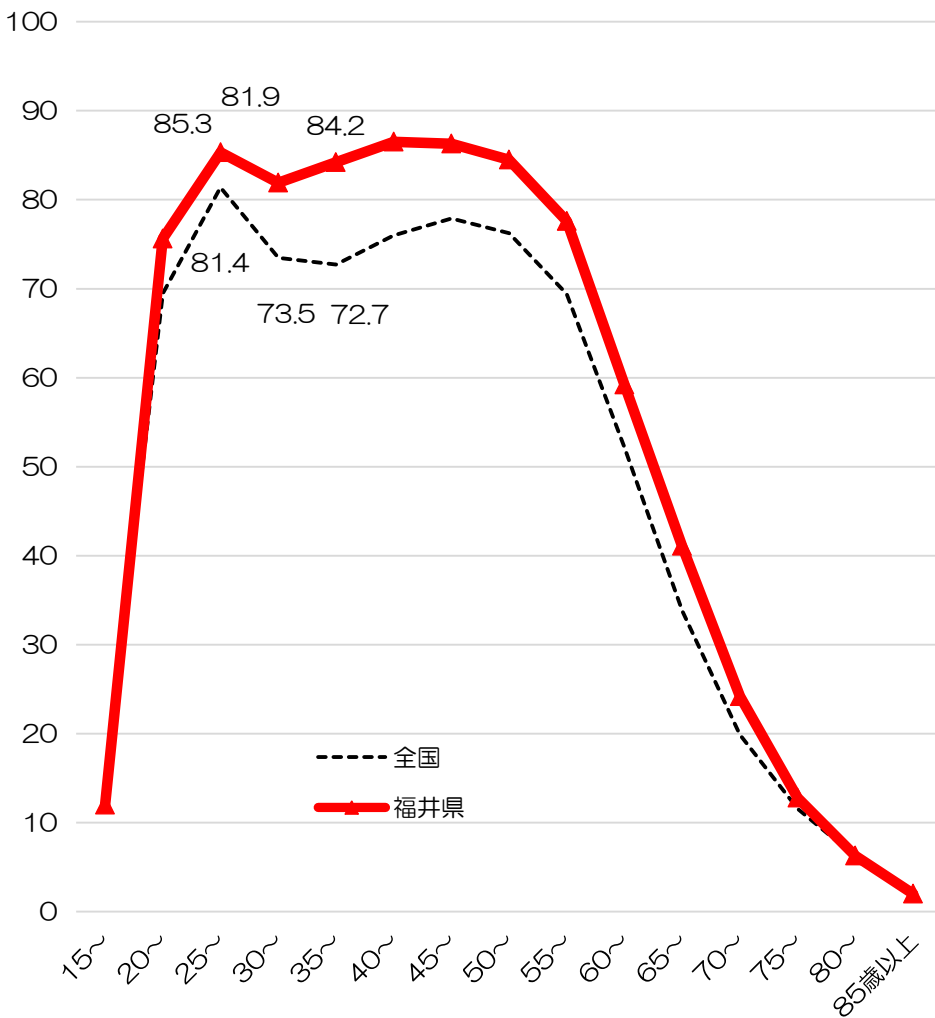
- 求人、求職のミスマッチが解消されておらず、人気の高い事務職の有効求人倍率が0.75倍であるのに対し、建設土木業8.22倍、介護・保健医療サービス業2.92倍など、職種・業種間で格差が生じている。
- 女性の労働力率（M字カーブ）は、全国に比べ緩やかである。（結婚・出産に伴う離職が少ないため）

【職種別有効求人倍率】

(%)【女性の労働力率（2015年）】



【有効求人・求職者状況（福井労働局）から県 算出】

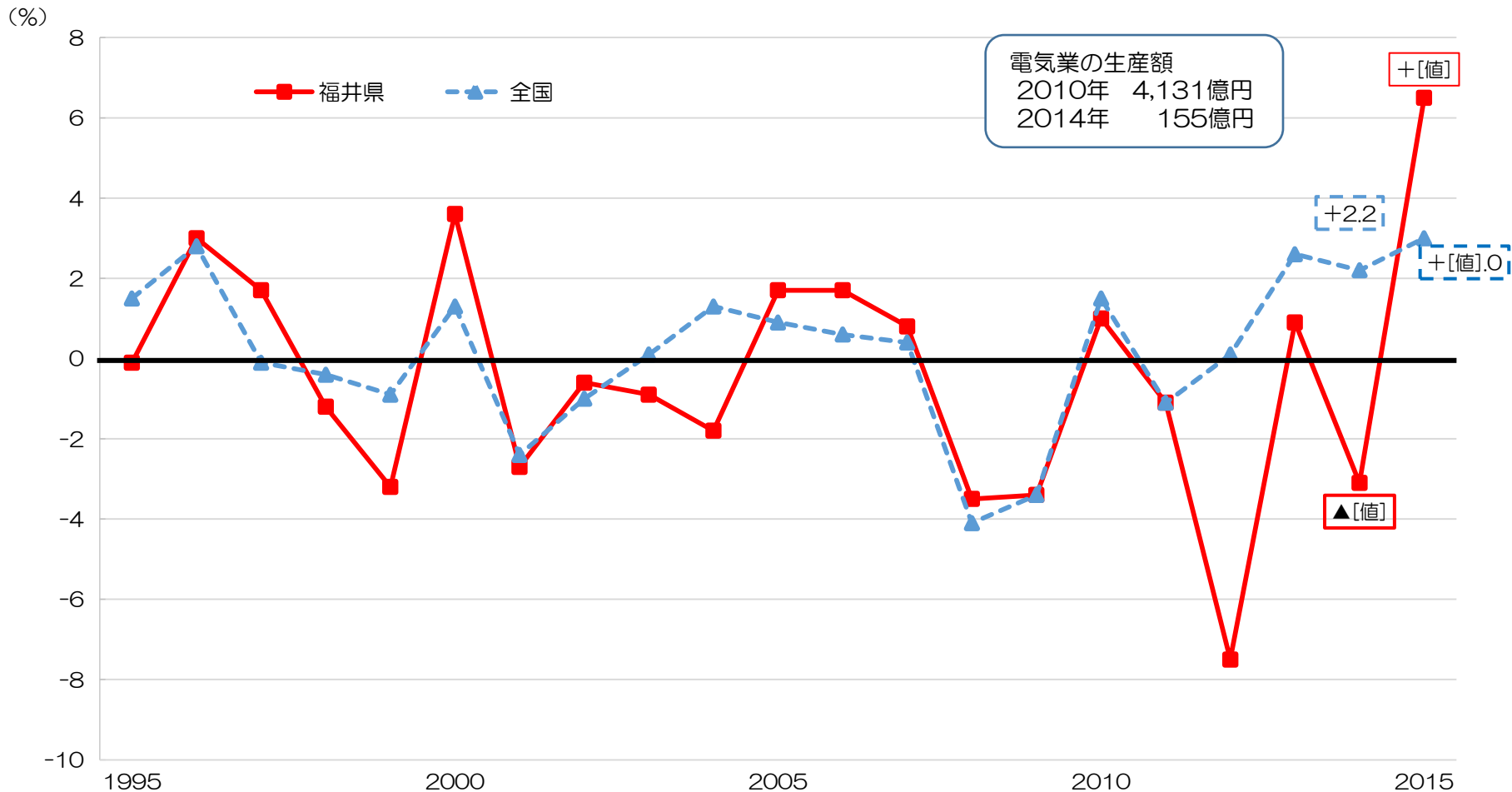


【国勢調査（総務省）】

## 4 経済成長率（名目）の推移

- 2005年から2011年まで、国の経済成長率とほぼ同じ大きさを県も経済成長を続けてきた。
- 2011年東日本大震災以降、県内原子力発電所が順次停止。2014年の国の成長率は+2.2%であったが、県は▲3.1%のマイナス成長。（稼働原発ゼロ）
- 2015年は3月の北陸新幹線金沢開業による効果などから、+6.5%と全国を上回る成長となった。

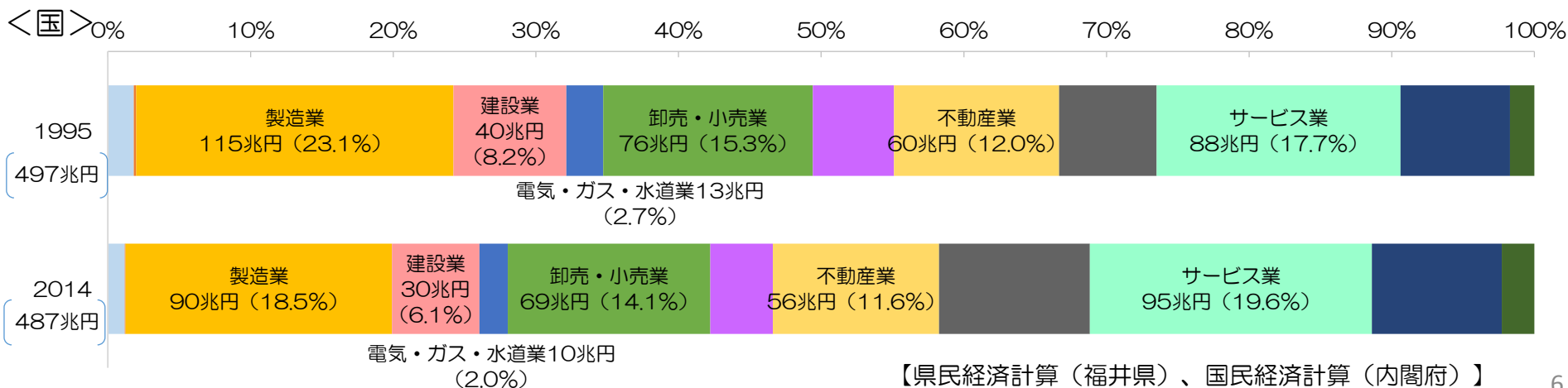
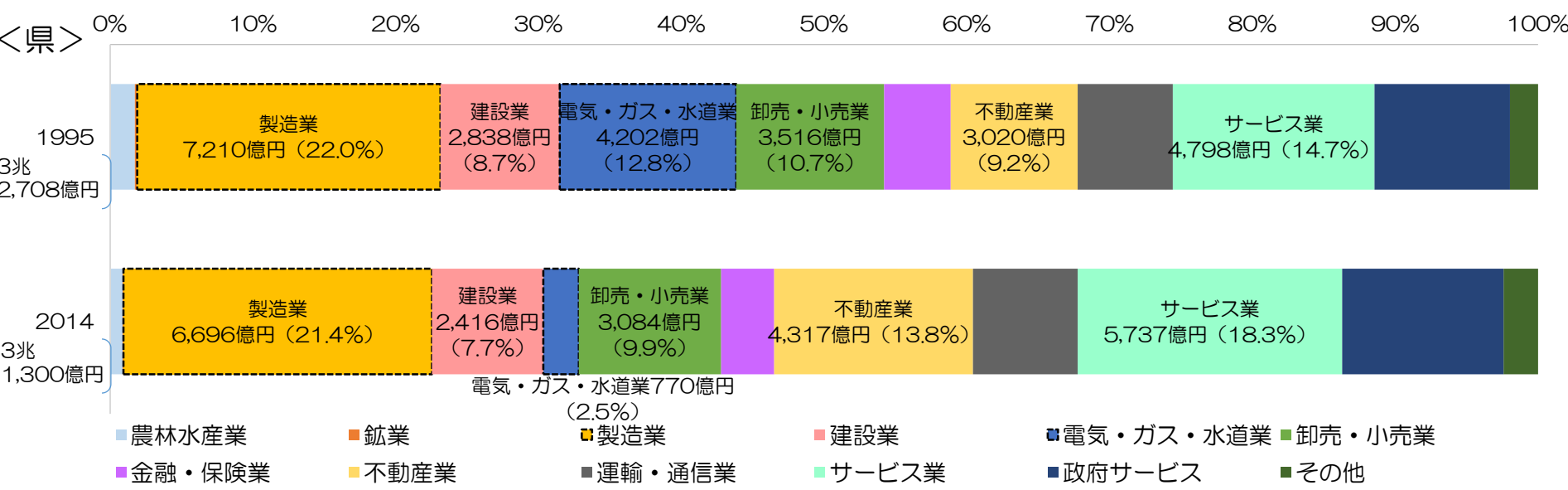
【経済成長率の推移】



# 5-① 産業構造の変遷（県内総生産）

- ・国全体と比較すると、製造業や電気・ガス・水道業の割合が高くなっているが、近年は原子力発電所の停止により電気・ガス・水道業の割合が低下している。
- ・サービス業のうち、医療・福祉サービスが増加している。

【県内総生産（生産側：名目）】



【県民経済計算（福井県）、国民経済計算（内閣府）】



## 5-② 産業構造の変遷（従業者数）

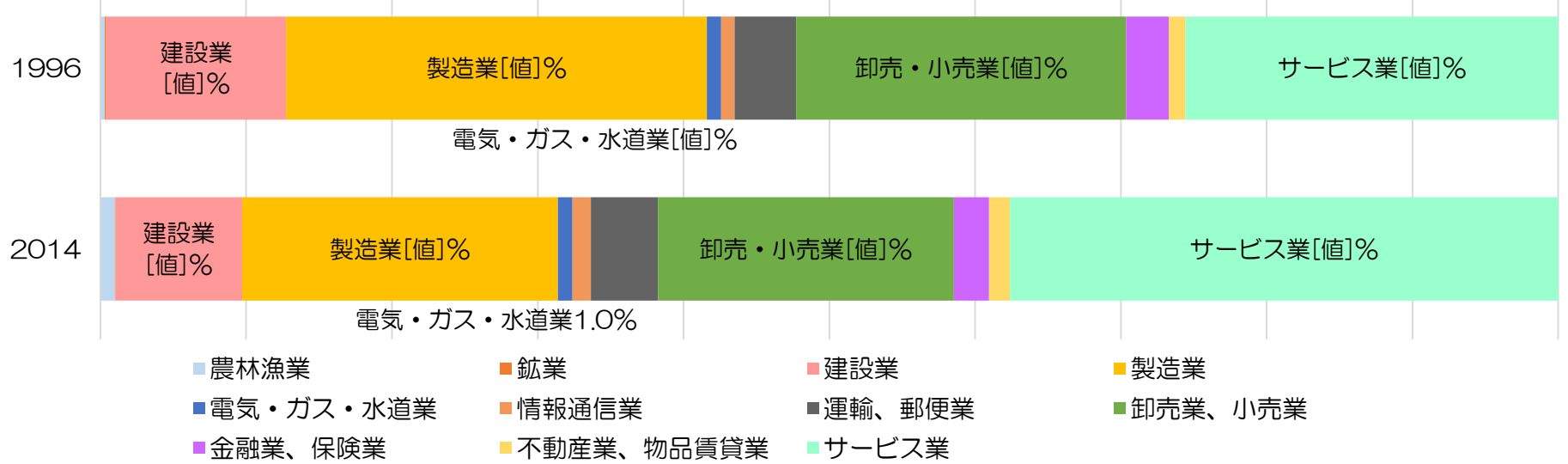
・1996年と比較し、製造業の従業者数の割合が減少し、サービス業の従業者数が大きく増加している。

【従業者数（業種別）】

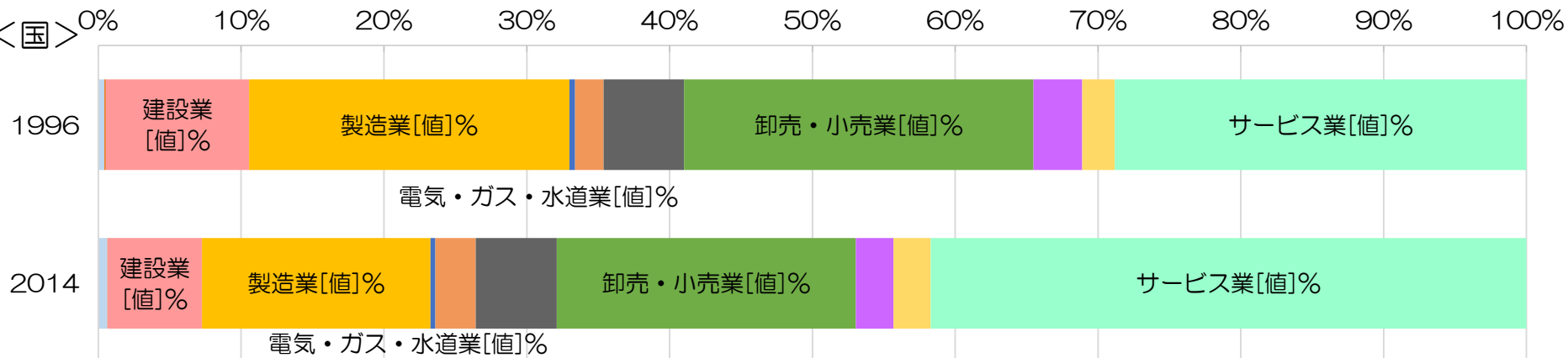
(民営)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

<県>



<国>

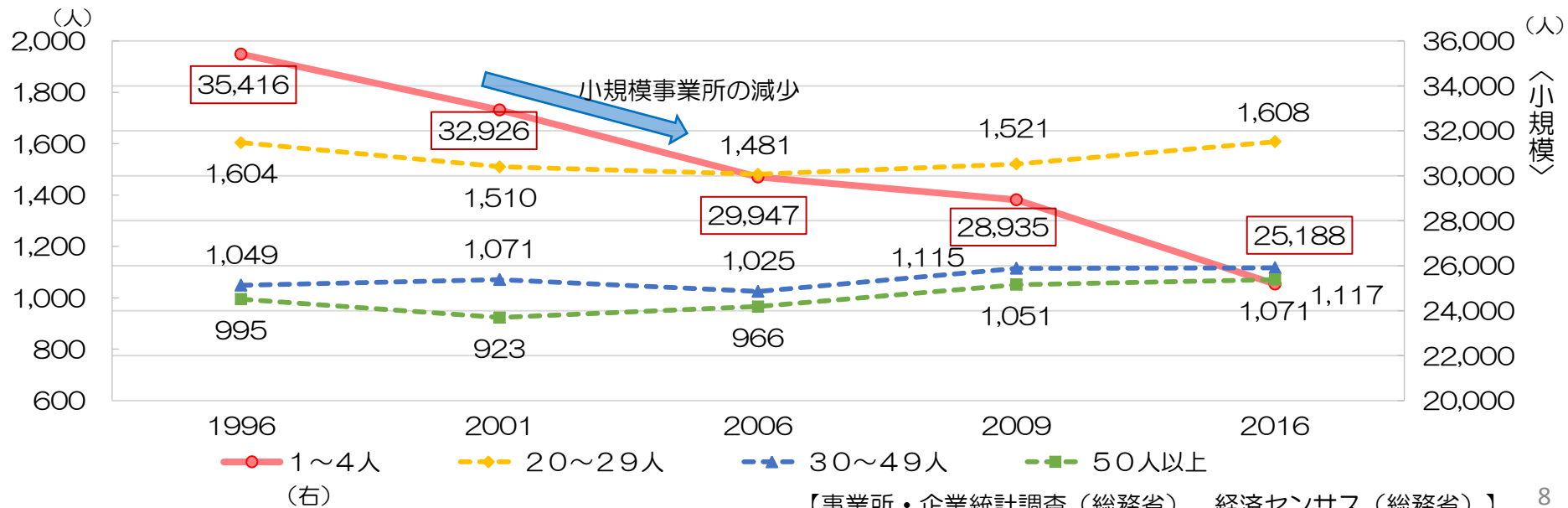
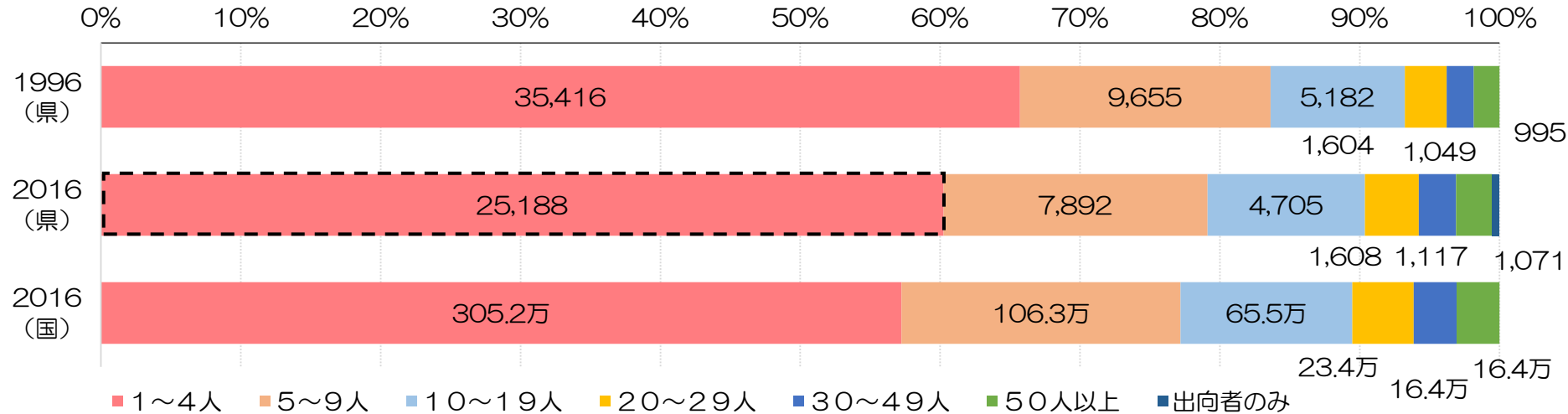


【事業所・企業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）】

## 6 事業所規模の推移

- 事業所の従業者規模別では4人以下の事業所が約6割を占める。
- 2016年の4人以下の事業所数は1996年と比較し、約3割（約1万事業所）減少しており、事業所の大規模化が進んでいる。

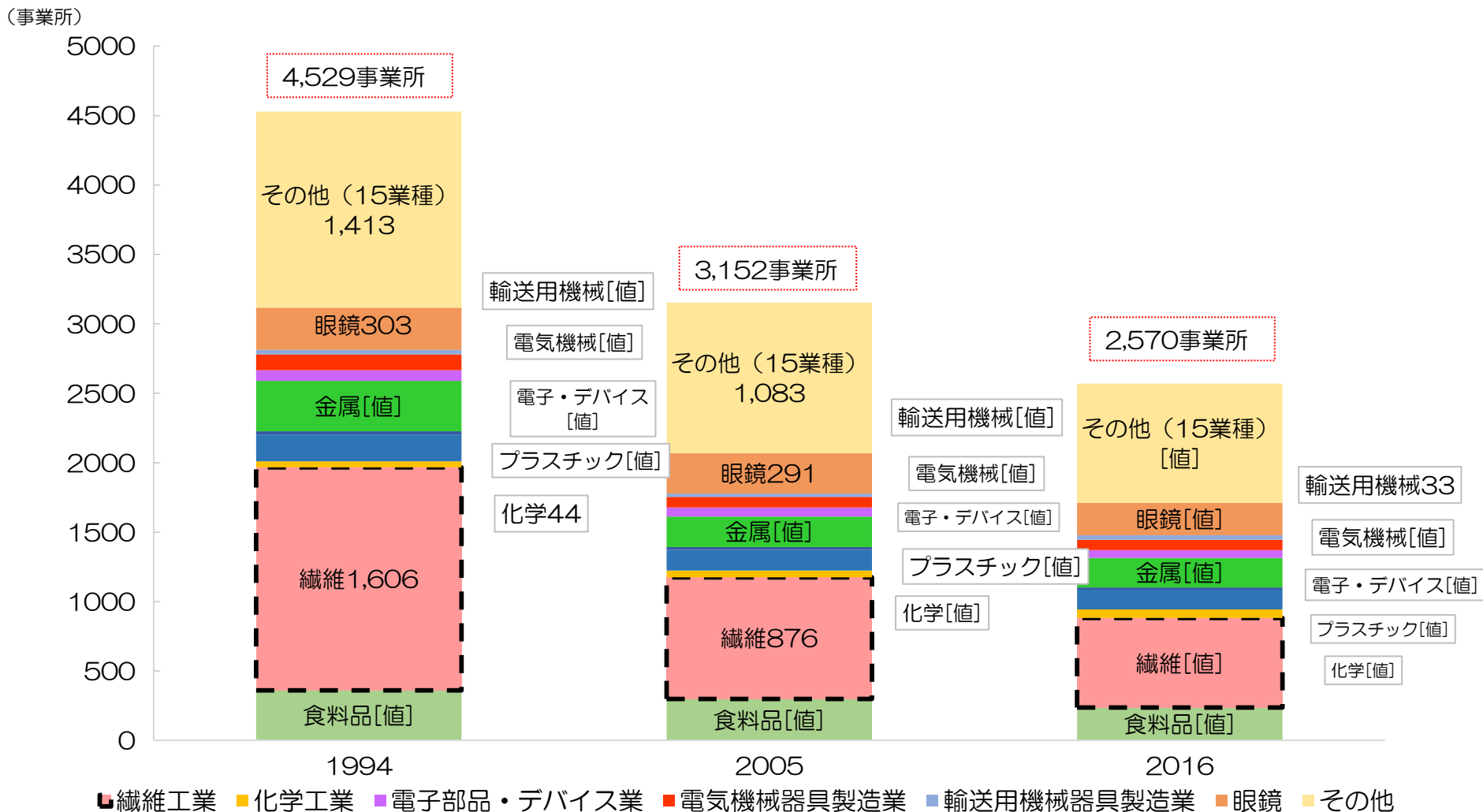
【事業所規模】



# 7-① 製造業の現状（事業所数）

・1994年と比べ、総事業所数は約4割減少し、業種別にみると繊維産業の減少（約6割減）が大きい。

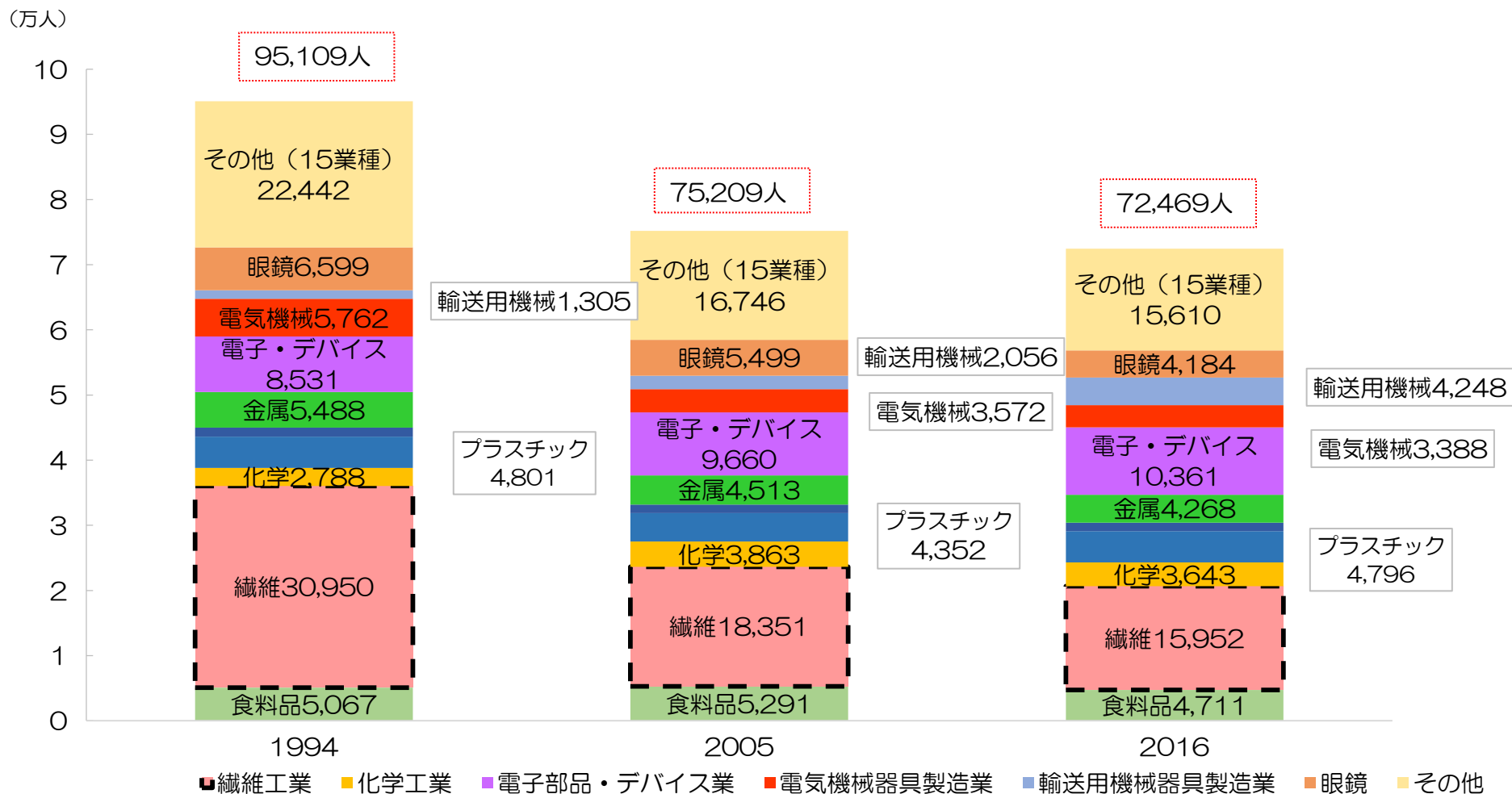
【事業所数の推移（4人以上の事業所）】



## 7-② 製造業の現状（従業者数）

- ・1994年と比べ、従業者数は約3割減少。業種別に見ると、繊維産業（約5割減）、眼鏡産業（約4割減）の減少が大きい。
- ・電子・デバイス業が大きく増加（約2割増）。

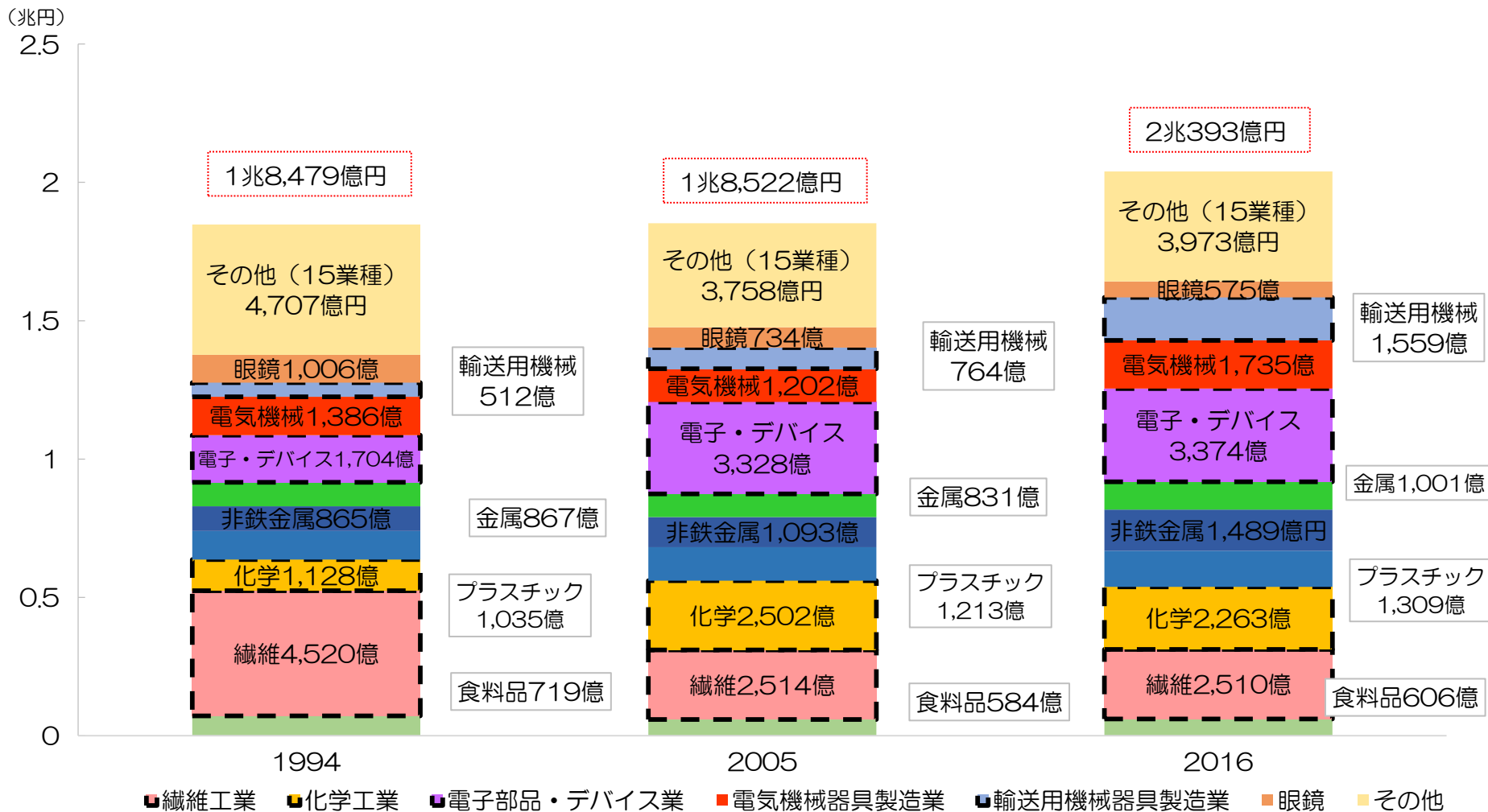
【従業者数の推移（4人以上の事業所）】



## 7-③ 製造業の現状（製造品出荷額等）

- 製造品出荷額等は堅調に推移しており、特に化学工業（約2倍）、電子デバイス工業（約2倍）、輸送機械工業（約3倍）の伸びが大きい。

【製造品出荷額等の推移（4人以上の事業所）】



## 7-④ 製造業の現状（企業誘致の実績）

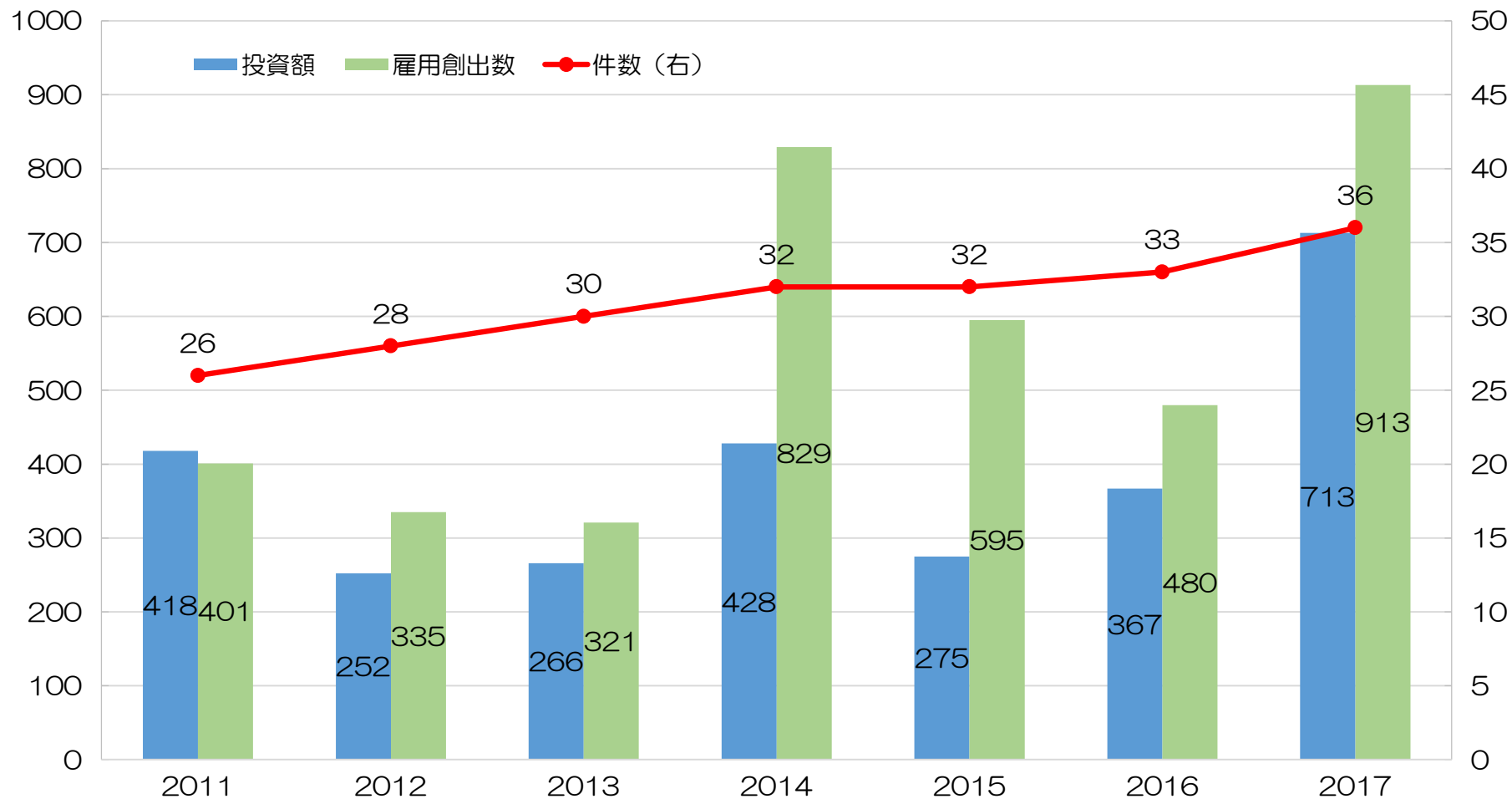
- ・2017年の企業立地件数（36件）、投資額（713億）、雇用創出数（913人）は過去最高。

### 【企業誘致の件数、投資額、雇用創出数】

（投資額：億円）

（雇用創出数：人）

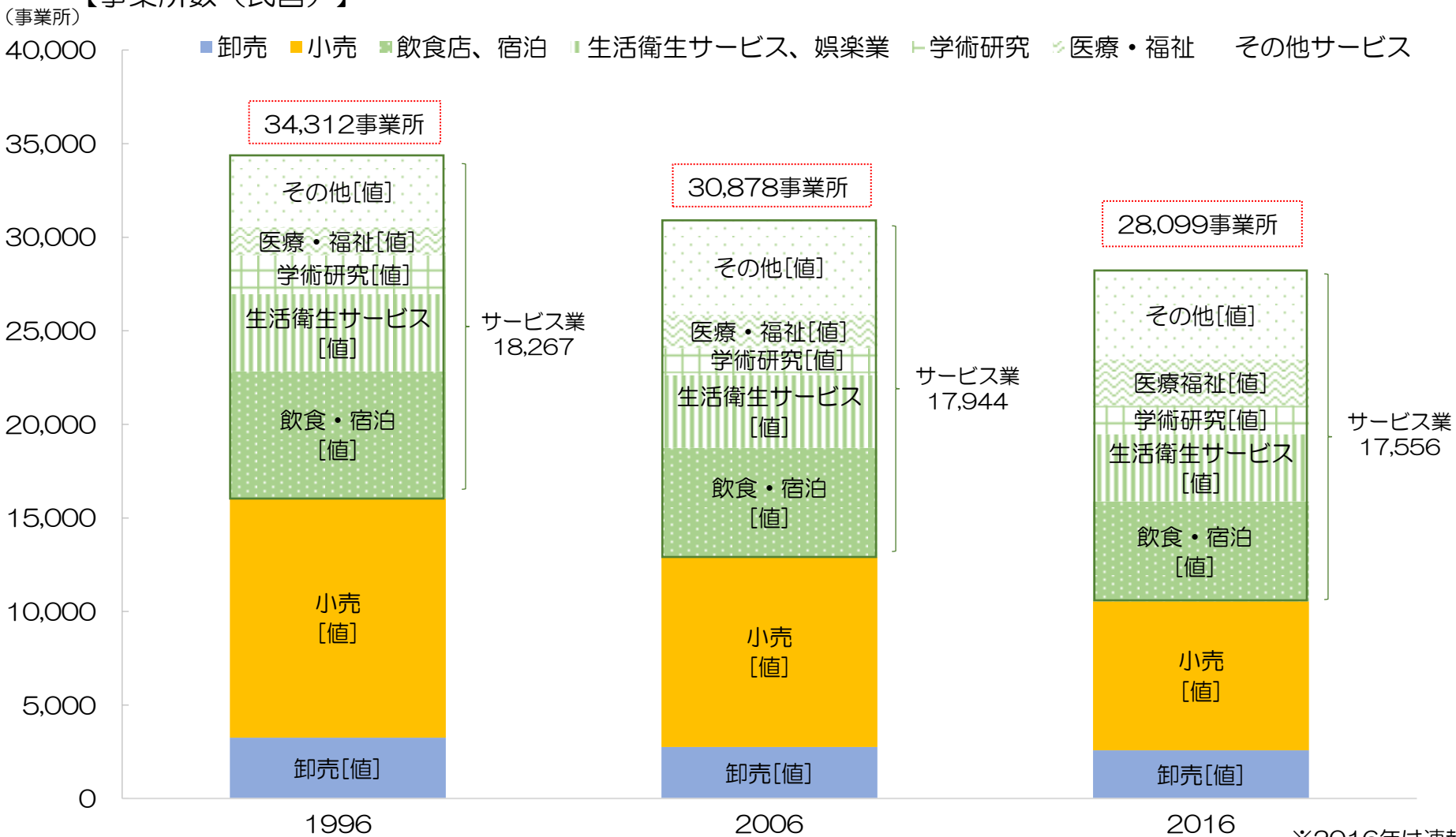
（立地件数：件）



# 8-① 卸・小売業、サービス業の現状（事業所数）

・1996年と比べ、卸・小売業、サービス業の事業所数は約2割減少しており、卸・小売業が大きく減少している。

【事業所数（民营）】



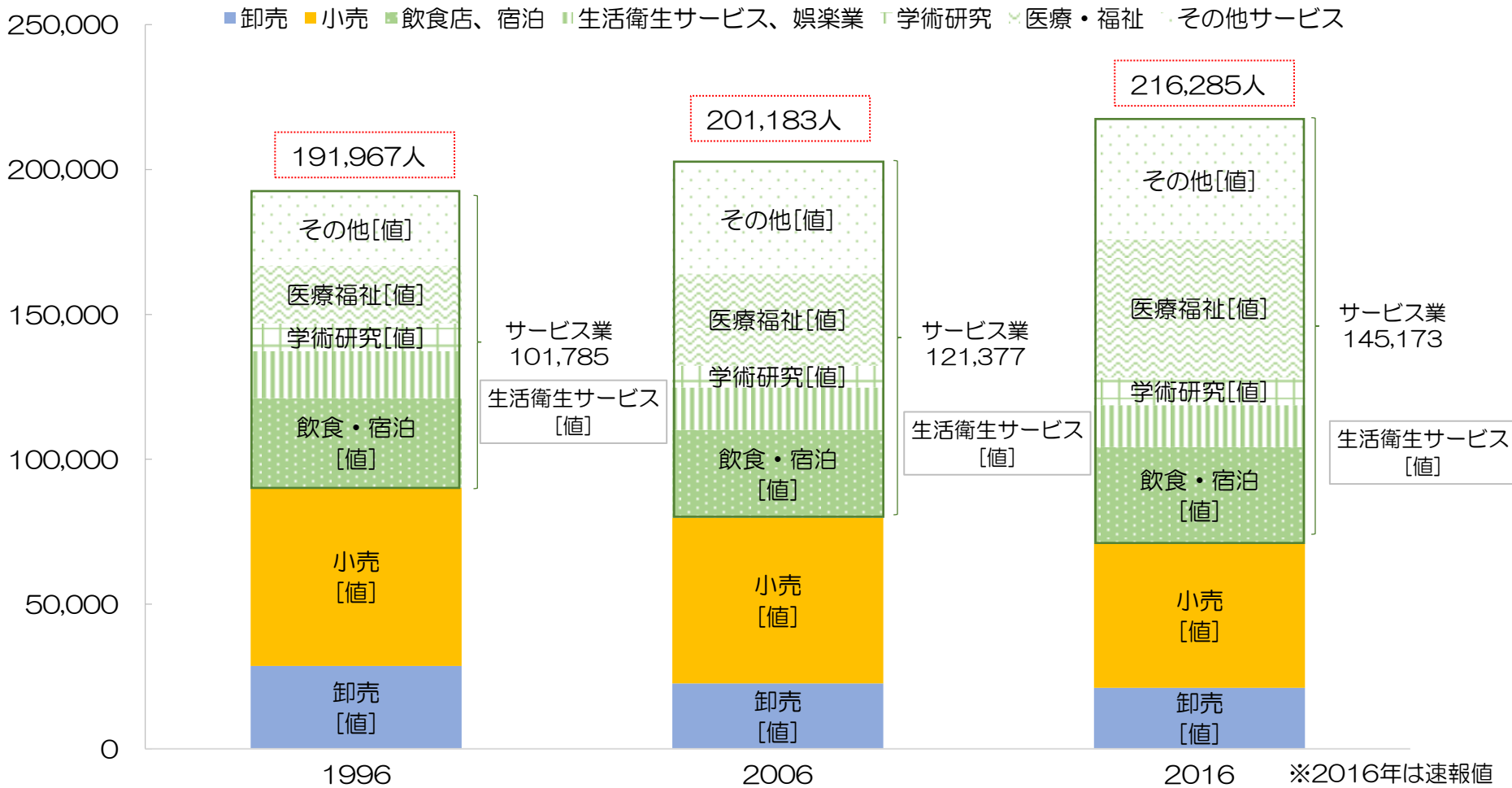
※2016年は速報値

## 8-② 卸・小売業、サービス業の現状（従業者数）

- ・サービス業の従業者が大きく増加している。（4.3万人）

【従業者数の推移（民営）】

(人)



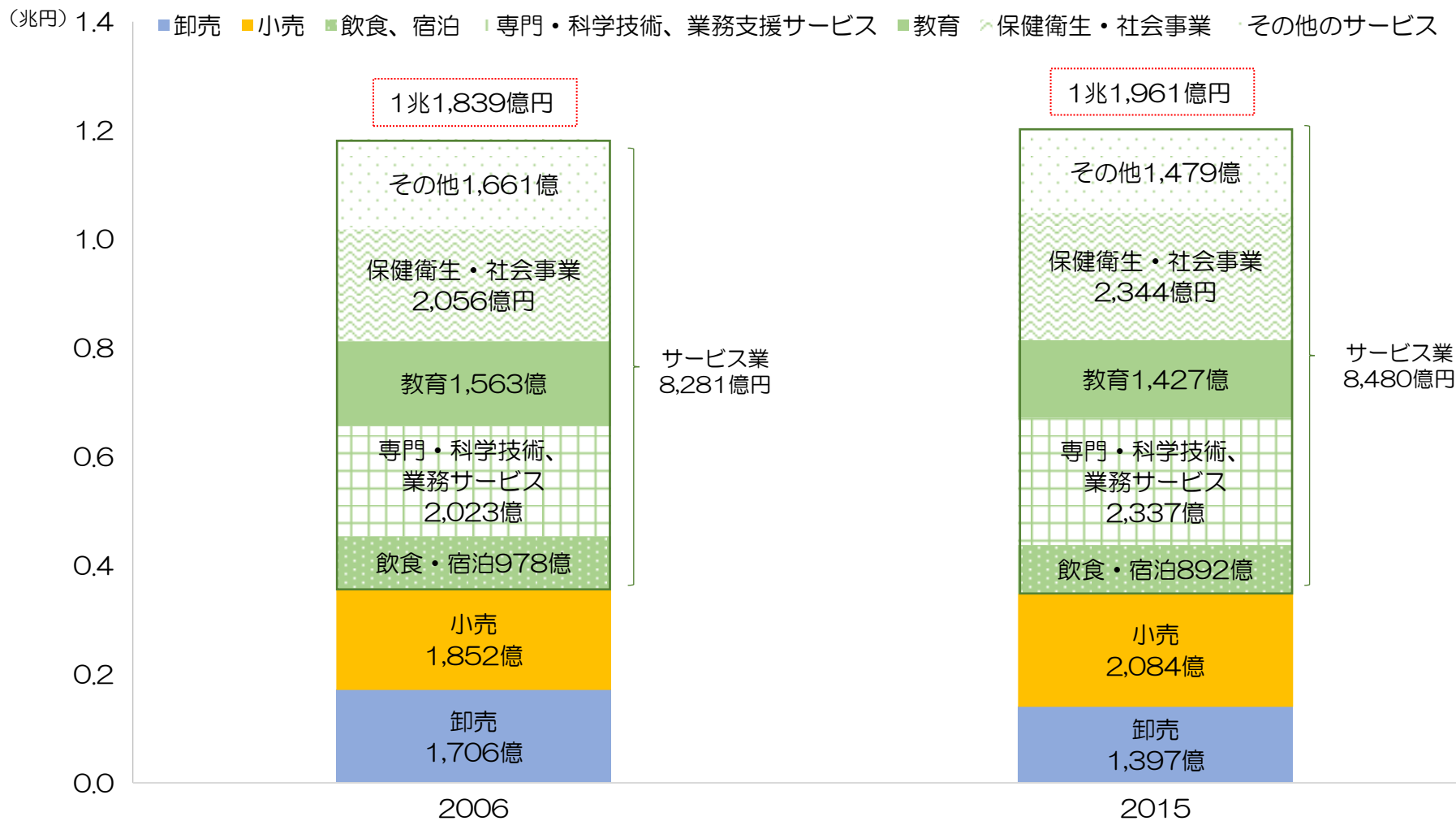
【事業所・企業統計調査、 経済センサス（総務省）】



## 8-③ 卸・小売業、サービス業の現状（付加価値額）

・卸・小売業、サービス業の従業者数は増加しているにもかかわらず、付加価値額の増加率は小さい。

### 【付加価値額の推移】



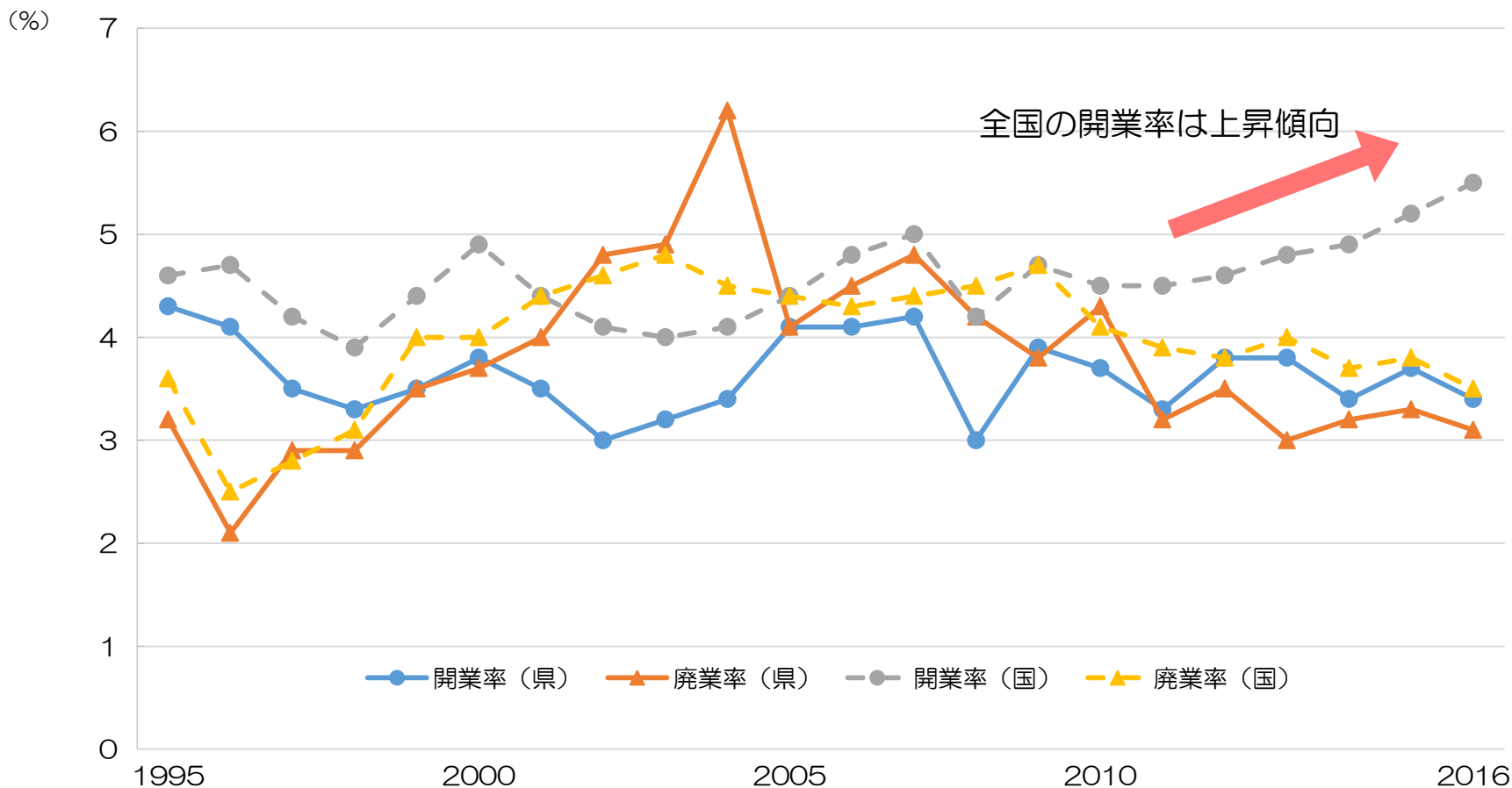
※統計上の制約により1996年との比較はできない

【県民経済計算（名目）（福井県）】

## 9 開廃業率の推移

- 開業率、廃業率はともに全国より低く、企業の新陳代謝は鈍い。
- 近年、全国の開業率は開業支援により上昇傾向であるが、2次産業が中心の産業構造である福井県は伸び悩んでいる。

【開業率・廃業率の推移】



開業率…当該年度の雇用関係が新規に成立した事業所数／前年度平均の雇用保険適用事業所数×100

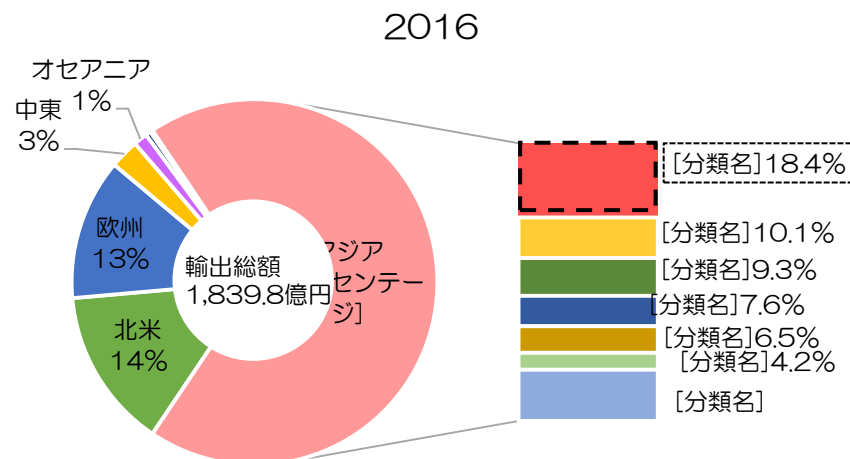
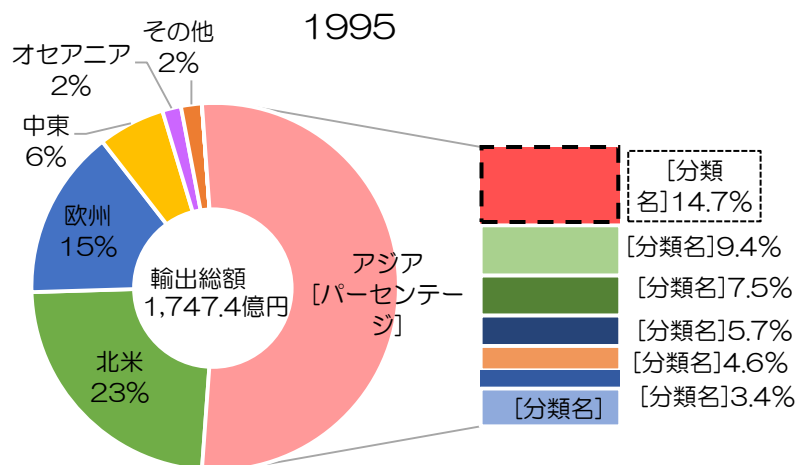
廃業率…当該年度に雇用関係が消滅した事業所数／前年度平均の雇用保険適用事業所数×100

【雇用保険事業年報から算出】

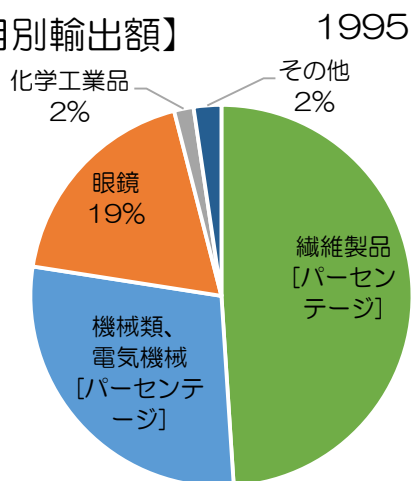
# 10-① 輸出の現状（地域別・品目別）

- ・地域別では、アジアへの輸出、特に中国への輸出の割合が大きくなっている。
- ・品目別では、機械・電気機器が増加し、繊維製品は減少している。

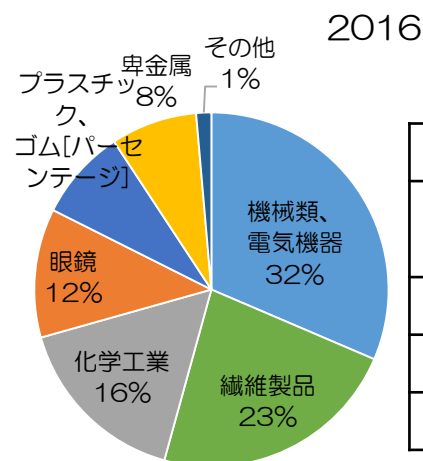
## 【地域別輸出額】



## 【品目別輸出額】



品目	金額
繊維製品	855.4億
機械類、電気機器	497.9億
眼鏡	323.9億
化学工業	28.8億

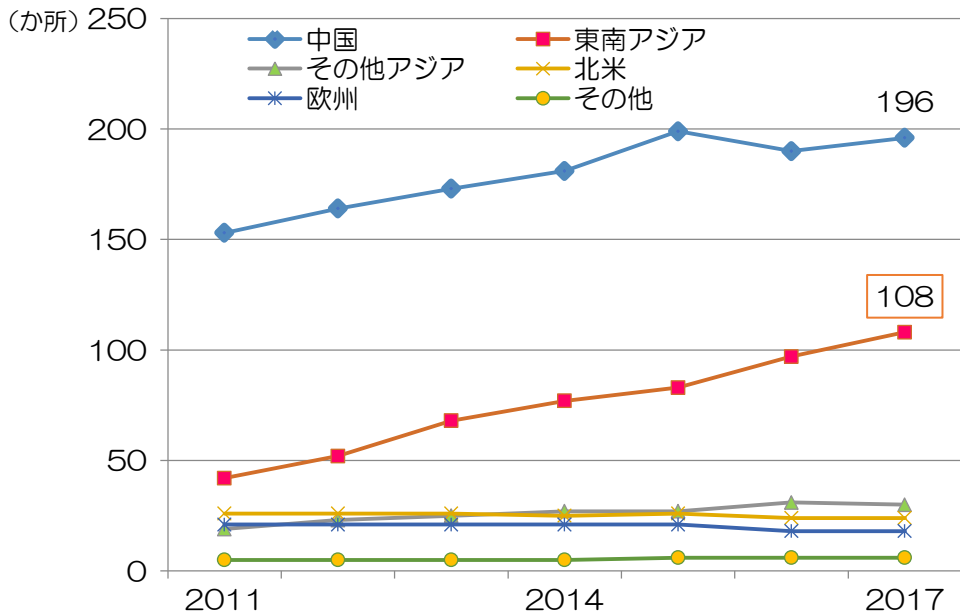


品目	金額
機械類、電気機器	578.3億
繊維製品	420.4億
化学工業	300.7億
眼鏡	216.6億

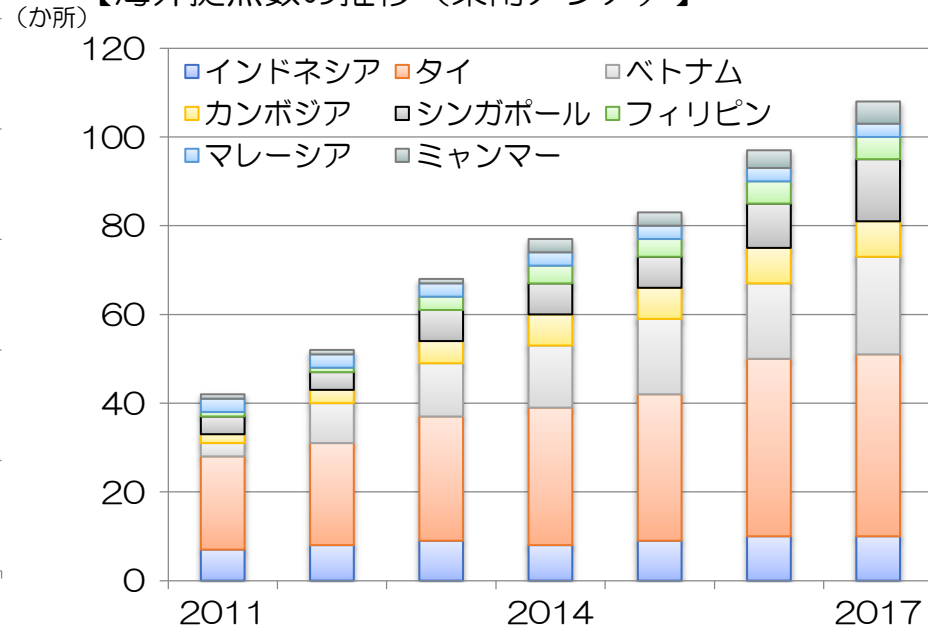
# 10-② 輸出の現状（海外拠点数、輸出企業数）

- 中国、東南アジアの海外拠点数は増加。特に、東南アジアの増加は近年顕著。
- 輸出企業数は横ばいが続く。

【海外拠点数の推移】

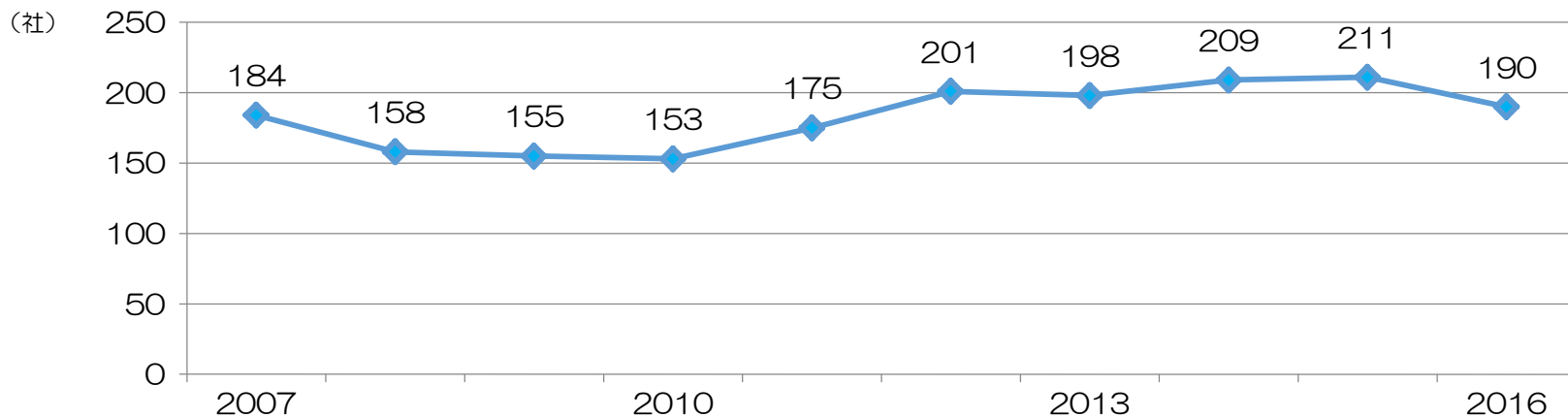


【海外拠点数の推移（東南アジア）】



【県国際経済課調べ】

【輸出企業数の推移】

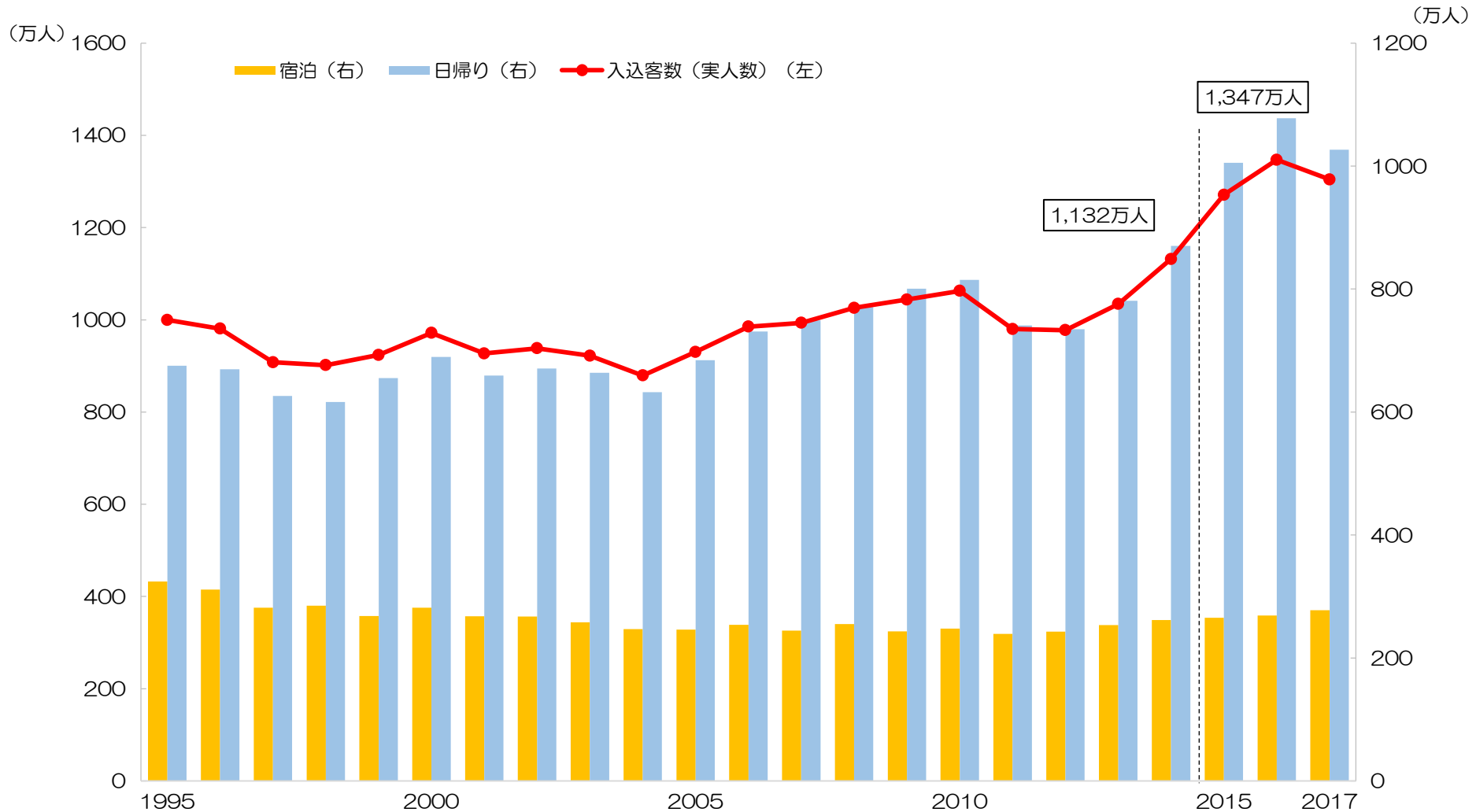


【福井県の貿易（福井県）】

# 1 1 - ① 観光の現状（観光入込客数）

- 観光入込客数は増加傾向にあり、2015年北陸新幹線金沢開業の影響により開業前から開業後で約2割増加。
- 一方、宿泊者数については開業後も横ばいが続く。

## 【観光入込客数】



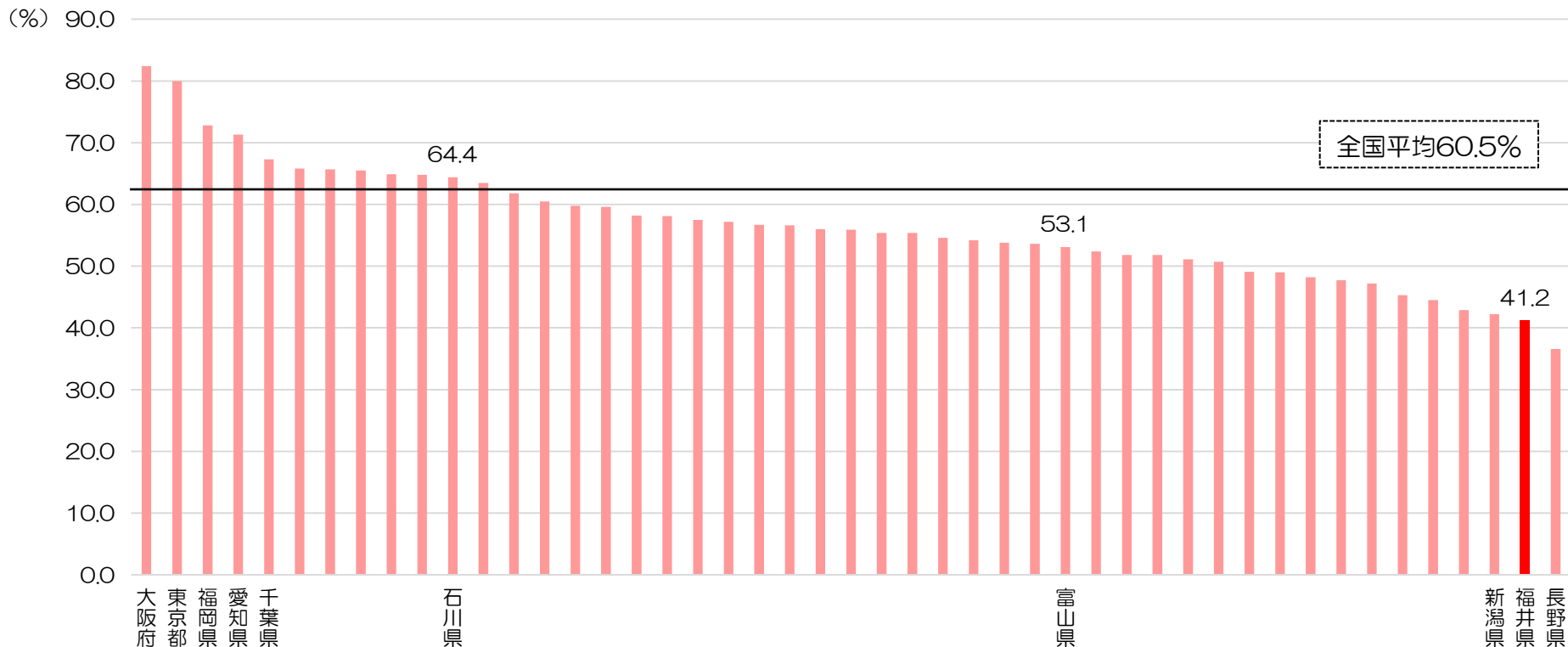
※平成16年観光動態調査に基づく数値を用いた推計 【福井県観光客入込数(推計)(福井県)】



# 1 1-③ 観光の現状（ホテル稼働率）

- ・宿泊施設の稼働率は低く、全国46位。
- ・全国や他県と比べ、旅館、シティホテルの稼働率が特に低い。

【ホテル稼働率】



【宿泊施設タイプ別稼働率】

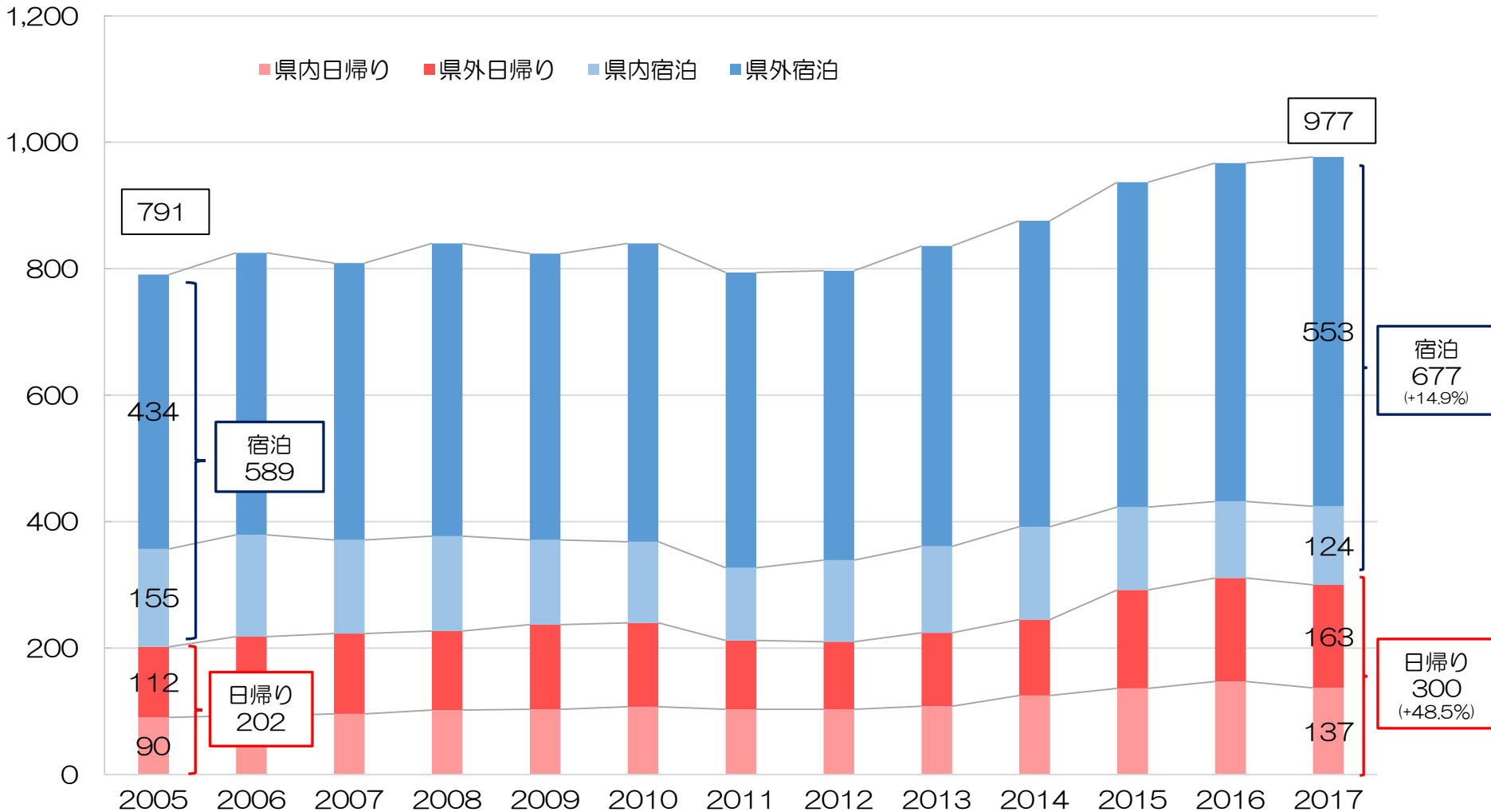
	福井県	石川県	富山県	全国
旅館	27.8%	50.9%	33.6%	37.5%
リゾートホテル	50.2%	55.2%	53.7%	57.5%
ビジネスホテル	73.2%	73.8%	66.0%	75.3%
シティホテル	58.7%	79.5%	68.5%	79.5%

# 1 1-④ 観光の現状（観光消費額）

- 2005年から2017年の日帰り客の観光消費額の増加率（48.5%）に対し、宿泊客の増加率は小さい。（14.9%）

## 【観光消費額】

（億円）



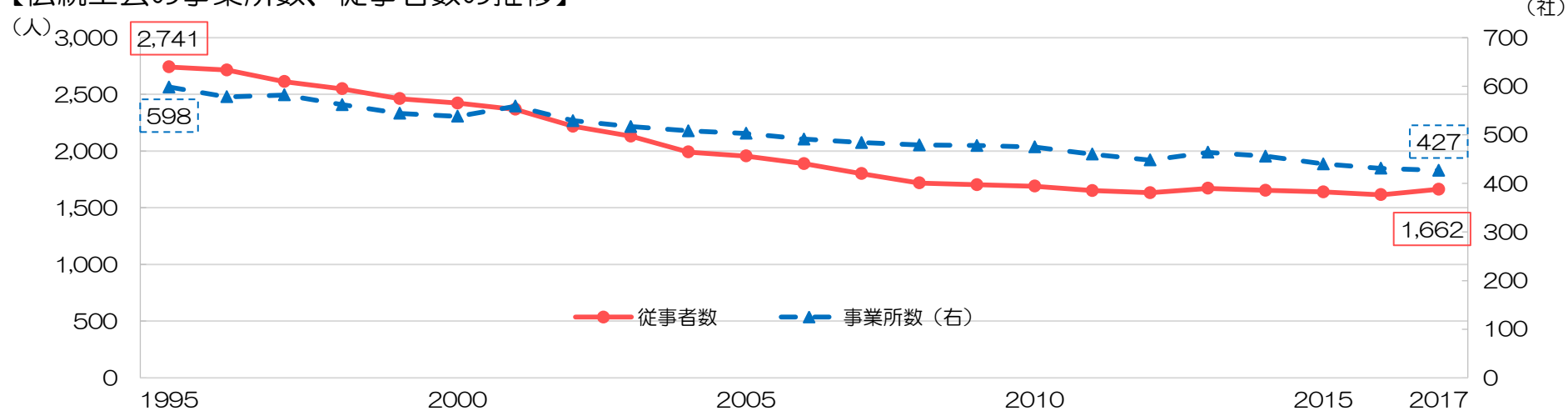
※平成16年観光動態調査に基づく数値を用いた推計 【福井県観光入込客数（推計）（福井県）】



## 1 2 伝統工芸の現状

- 生活様式の変化や、安価な大量生産品の増加などに伴い、伝統的工芸品（越前漆器、越前和紙、若狭めのう、若狭塗、越前打刃物、越前焼、越前筆筥）の事業所数、従業者数、生産額は減少。

【伝統工芸の事業所数、従業者数の推移】



【伝統工芸の生産額の推移】

